

ISO 22000 : 2018 規格改正差分 セミナー



日程：2018年8月24日

参加費：12,960円（税込）

（一般賛助会員 共に）

場所：日科技連（西新宿）

〒163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル

2005年の発行以来、ISO 22000 は世界中の組織の食品安全マネジメントシステムに採用されてきました。さらに、多くの組織が FSSC 22000 のプライベート認証スキームの下で認証をされていますが、FSSC 22000 の主要な要求事項は ISO 22000 が引用されています。

今回 ISO 22000 は、初期発行依頼の大幅な規格改正を行い 2018 年 6 月 19 日に発行されます。今回の改正ではマネジメントシステム規格に関する合意方針に沿って、10 箇条からなる上位構造(HLS)、同一の核となる本文及び共通の用語と定義を採用しています。附属書 SL の適用は、マネジメントシステムの適用範囲、トップマネジメントの関与、システムの文書化、組織のニーズに対するリスクに基づくアプローチと PDCA サイクルを用いたプロセスアプローチの重視に影響があります。そのほか、PRP、OPRP と CCP の違いなど、現行の要求事項を変更しています。

今回、FSMS 主任審査員が ISO 22000 規格改正の概要とポイントについて解説するとともに、2018 年版への移行に際してのヒントとなる情報もお伝えいたします。

【おすすめポイント】

- 採用された 10 箇条からなる **上位構造 (HLS)** 及び 2005 年版からの **改正のポイント** を中心に解説します。
- 今回の改正では **適用範囲、トップマネジメントの関与、システムの文書化、組織のニーズに対するリスクに基づくアプローチと PDCA サイクルを用いたプロセスアプローチの重視している点** について解説します。
- **PRP、OPRP と CCP の違いやアウトソースプロセス管理** など、現行の要求事項からの **改正点の詳細** を解説します。

【対象者】

- ISO 22000、FSSC 22000 を運用している組織の食品安全チームリーダー及びメンバー
- 2018 年版移行実務担当者の方
- 今後 FSMS 認証取得を目指す組織の担当者の方

【カリキュラム】

10:00~10:10	オリエンテーション 事務連絡	
10:10~15:00 昼食休憩 12:00~13:00)	講義 I	○規格改訂の背景 ○改正された ISO 22000 概要 ○MSS 上位構造(HLS)の特徴とテンプレートの概要
	講義 II	○システムマネジメントの要求事項に関する変更と追加項目 ○条項別に変更点の確認と要求事項の解説 ○2018 年版への移行するためのヒント

